

川崎市学童軟式野球大会特別規則

1. 大会適用規則

本大会は、2019年度版 公認野球規則・2019年度版 (財)全日本軟式野球連盟の競技者必携の中で、学童部に関する事項及び大会特別規則を適用

2. 大会特別規則

- (1) 試合は7回戦とし、試合開始の「プレイ」宣告後、1時間30分を経過したらそのイニングが最終回とする。
(注) 決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合とする。
- (2) タイブレーク方式 (特別延長戦)
7回を終了して同点の場合、決められた時間が経過して同点の場合はタイブレーク方式を行う。
タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。0アウト一塁・二塁の状態にして、1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順を行い勝敗が決しないときは、抽選で勝敗を決定する。
(注) 大会運営上7回が終了するか、決められた時間が経過して同点の場合はタイブレーク方式を行わず、抽選で勝敗を決定する場合もある。
(抽選) 抽選は、○×式とし、○印の多いチームを勝ちとする。
- (3) 得点差によるコールドゲーム
得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差・5回以降7点差とする。
(決勝戦は、5回以降7点差)
- (4) 再試合
試合が5回以前に中止になった場合 (ノーゲーム)、また5回が過ぎて同点で試合が中止になった場合 (正式試合でタイゲーム) は、再試合を行う。
ただし、以後の試合日程から試合の勝者は、一日2試合を行うことになる。
- (5) 投球数制限
投手の投球については、肘、肩の障害防止を考慮し、1人の投手は一日70球以内を投球できる。継続して70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。バークにもかわらず投球したものは投球数とする。また、一日でダブルヘッダーや特別継続試合を行う場合や、タイブレークとなった場合、1日70球以内であれば引き続き投球することができる。すなわち通算で70球とする。但し、ジュニアシスターズ大会は投球数制限は適用しない。(2018年度投球回数制限を適用)

3. 打順表と攻守の決定

- (1) その日の第1試合は、試合開始予定時間の60分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時まで打順表を5通 (登録された全員を記入し、必ずふりがなを付けたもの) を監督と主将が大会本部に提出し、登録名簿と照合ののち、球審立会いのもとに攻守を決定する。
攻守決定ののち、5回終了するか1時間経過すればグラウンド内のブルペンで、先発投手のみ投球練習を行っても良い。^{選手の汗、ユニフォーム}
(注) 前の試合が早く終了した場合は、次の試合を試合開始予定時刻前に開始することがありますので、試合開始予定時刻30分前には球場に到着して前の試合経過に注視すること。
- (2) ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
試合中ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番
コーチ29番、28番、及び選手20名以内と、チーム代表者、マネージャー
スコアラーとする。
熱中症対策として、保護者(女性)2名以内をベンチに入れることができる。^{着帽}

4. 使用球と用具・装具

- (1) 使用球は連盟公認のナガセケンコーボールJ号とする。
 - (2) チームはユニフォーム、アンダーシャツ等は、同色、同形、同意匠の物を使用すること。(連合チームは、背番号を同色、同形、同意匠とすること)
但し、スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。学童部は金属のついたスパイクは使用できません。尚、裾幅の広いストレートタイプのユニフォームは、監督、コーチも含めて使用を禁止する。
 - (3) ユニフォームの袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字又はローマ字による県名を必ず付けなければならない。また、他のものをつけてはならない。
 - (4) バットは、金属バット、ハイコンバットは、JSBBのマークのついた公認のものを使用すること
 - (5) 捕手の装具は、連盟公認のマスク、プロテクター、レガース、S・Gマークのついた捕手用ヘルメット及びファルカップを必ず装着すること。
 - (6) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、S・Gマークのついた全軟連公認で、両側にイヤーフラップのついたヘルメットを着帽すること。
5. シートノックを行う場合は5分間を限度とします。シートノックのとき、補助員として、コーチ(背番号28、29)も認める。補助員はヘルメット着帽すること
ただし、大会運営上シートノックを行わず試合を開始することがある。

6. その他の取り決め事項

- (1) ファウルボールは、一塁側のものは一塁側ベンチ、三塁側のものは三塁側ベンチ本塁後方のものは攻撃側で処理すること。
- (2) 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代をすること。
- (3) ベンチ内での電子機器類(携帯電話、パソコン等)、携帯マイクの使用を禁止する
メガホンは、ベンチ内に1個に限り許可する。

7. 試合のスピード化に関する事項

- (1) 攻守交代はかけ足で行い、第三アウトが成立したら、プレーヤーは速やかにベンチを離れて、守備位置に向かうこと
- (2) 守備側のタイムの回数制限について
捕手を含む内野手が、投手のもとへ行ける回数は、3回以内とする。
タイブレーク方式となった場合は、2イニングに1回行くことができる。
往復を駆け足で行いプレイの開始を遅らせてはならない。
- (3) 攻撃側のタイムの制限について、
攻撃側のタイムは、3回以内とし、タイブレーク方式の場合は、2イニングに1回とする。
- (4) 投手の塁への送球
離塁していない塁への送球は遅延行為でボークになる。また無用と思われる塁への送球が度を過ぎると審判員が判断したら、反則行為とみなされる。
- (5) サングラスは、大会本部の承認なしに使用することができる。
但し、帽子にサングラスに乗せることは禁止とする。
- (6) ネクストバッタースサークルでは、次打者はスタンディングで待つて良いがバットを振ってはならない。

川崎市学童軟式野球大会特別規則

<親子ふれあйтスペースボール大会>

◆大会種目

母親と小学校4年生以下の小学児童（男女を問わず）混成チームの編成
※母と児童の統柄は問いません

◆チーム編成

- ① 登録選手…登録選手は各クラスとも、母は3名以上6名以内、児童は7名以上20名以内とします。
※打撃・守備とも10人で行います。（10名未満での大会参加はできません）
- ② 指導者…選手以外に成人の指導者（男女を問わず）をおくことができます。
※予め選手登録した指導者は選手として試合に参加することができます

◆用具について

試合に使用するバット・ボールは日本トスボール協会認定品とします

◆試合について

- ① 予選リーグ（3試合）を行ったのち、決勝トーナメントを行います。
- ② 決勝トーナメントは各グループの上位1チームで行います。
- ③ 予選リーグの組合せ抽選は予め抽選会で行い、試合時間を決定します。
- ④ 予選リーグは一試合2イニング・決勝トーナメントは一試合3イニングとします。
- ⑤ 母の選手の守備および攻撃時における出場枠は各々3名とします。

◆勝敗について

- ① 予選リーグ・勝敗に関係なく、2回裏まで行います。同点の場合は引き分けとします。
（予選リーグ全試合の得失点差により各グループごとに決勝進出する1チームを決定します。）
- ② 決勝トーナメント
I 最終回表の攻撃が終了した時点で、後攻チームがリードしている場合、また最終回裏の攻撃で逆転した場合はその時点で試合は終了します。
II 規定イニングを終了した時点で勝敗が決しない場合は、1イニングの延長を行いさらに決しない場合は抽選とします。

◆裁定について

- ① トスマシンのリモコン操作は主審が行います。
- ② トスボール試合規則および本大会規則に決められていない事項は審判裁定とします。

◆攻撃について

- ① 攻撃は1イニング10名とします。
- ② 打撃順はゼッケン番号順とします。（ゼッケンは、自制作したものでも構いません）
（ゼッケン1番=1番打者、ゼッケン2番=2番打者、以下10番まで同じ）
- ③ 打者は1イニングに1番から10番までアウト数に関係なく打撃を行います。
- ④ 同一イニングで出場できる母の総数は代走を含め3名とします。
- ⑤ 同一イニングに同一打者が二度打つことはできません。
- ⑥ 3回目のイニングからは、打撃順の変更または打者の変更は自由にできます。
- ⑦ 打者は3球以内にフェアボールを打たなければ、打者アウトとなります。
- ⑧ 打球がトスマシンに触れた場合はファールボールとなります。
- ⑨ バントおよび盗塁はできません。
- ⑩ 走者の離塁はベースより2m以内とし、走塁は打者がボールを打った時点とします。
- ⑪ ボールデットと判定された後の進塁はできません。

◆ 守備について

- ① 守備は10名とします。
- ② 守備交代は自由に行えます。
- ③ 守備についている、母の総数は3名とします。
- ④ 極端な前進守備等を行った場合、安全を配慮し、守備位置の変更を求めることがあります
- ⑤ 送球ボールがトスマシンに当たった場合はインプレーとし、プレーは継続されます。
- ⑥ ボールをトスマシンに補給するのはボールデットとなった後、守備位置の選手。又、捕手が行います。

※ボールデットとは打者・走者・守備等すべてのプレーが終了した時点のことであり、単にボールが捕手に転送された時点ではありません

◆ 攻守交代について

- ① 10番打者が打撃を行い、すべてのプレーが終了した時点で、アウト数に関係なく、攻守を交代します。
- ② 前イニングの残塁走者は次イニングに繰り越されません。

◆ 得点について

10番打者が打撃を行い、すべてのプレーが終了した時点で、その回の得点が記録されます。

◆ 塁間について

塁間は18mとします。一、二、三塁の走者のリードラインはベースから2メートルとす

◆ スポーツ保険の加入が出場条件

小学生は、チーム加入スポーツ障害保険が義務付けになります。

母親は、川崎市少年野球連盟加入のスポーツイベント保険に加入します。

よって、母親登録は年齢明記が必須となります。(大会要項には記載しません)

選手登録用紙を提出したのち、変更はできません。

◆ 大会開催は、少年野球底辺の拡大を図る目的から、大会日程が順延し、出場予定チームが学校行事等により参加できなくなった場合、同一連盟の他のチームが代理で参加することを認めます。(同一地区で代理参加チームを決めておいてください)

選手登録用紙の提出が必要となります、地区事務局は事前に準備をお願いします。